

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 児童福祉司等専門職採用活動支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111(内3561)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 180 千円 (前年度予算額： 1,164 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,164	582	0	0	0	0	0	0	582
要求額	180	90	0	0	0	0	0	0	90
決定額	180	90	0	0	0	0	0	0	90

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和4年12月に、国において「新たな児童虐待防止対策体制総合強化プラン」が策定され、令和8年度までの児童福祉司等の専門職の増員に関する目標値が定められた。(児童福祉司：1,610人増、児童心理司：950人増)

児童福祉法施行令に定める配置基準に従い、岐阜県においては、令和6年度までに児童福祉司及び児童心理司を141人まで増員。「岐阜県社会的養育推進行動計画 (R7~11年度)」に基づき、引き続き効果的な採用活動により、優秀な人材を確保する。

(2) 事業内容

子ども相談センター職員 (福祉職・心理職) が大学等に出向き、合同説明会やケーススタディ等のセミナーをを通じて、子ども相談センターで働く魅力について発信し、人材確保のための採用活動を実施。

(3) 県負担・補助率の考え方

県1/2 国庫1/2

(児童虐待防止対策等総合支援事業国庫補助金)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	0	PR用の冊子作成 募集ポスターの作成 企業説明会への参加 〔 ※ 別事業にて実施 〕
旅費	180	大学訪問活動
合計	180	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

本事業は、「児童虐待防止対策等総合支援事業」の一環として令和元年度から実施。

(2) 事業主体及びその妥当性

事業主体：県

児童相談所に勤務する福祉職及び心理職は、県人事委員会が実施する試験により採用される公務員であることから、県が事業主体となる。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 学生向けセミナーを開催するなどのリクルート活動を行い、専門的な知識を有した優秀な人材の確保に努める。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
児童福祉司・児童心理司の配置	87人	141名	136人	145人	171名	82.4%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	12大学1高校延べ15回、計320人の学生に対し、子相職員が岐阜県福祉職・心理職のリクルート活動を行った。
令和5年度	16機関延べ21回、計433人の学生に対し、子相職員が岐阜県福祉職・心理職のリクルート活動を行った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	13機関延べ16回、計446人の学生に対し、子相職員が岐阜県福祉職・心理職のリクルート活動を行った。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 3	国の増員計画に基づき、児童福祉法施行令に定める配置基準に従い、児童福祉司、児童心理司を配置しなければならないが、他県でも同様に増員を予定しており、優秀な人材を確保することが急務である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	計画的な増員計画が図られ、職員募集に対しても一定数の応募が成されていることから、県内をはじめ、愛知県の大学に対しても、岐阜県福祉職・心理職の魅力を伝えることができています。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	計画的な増員計画が図られ、職員募集に対しても一定数の応募が成されていることから、県内をはじめ、愛知県の大学に対しても、岐阜県福祉職・心理職の魅力を伝えることができています。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 年々増加傾向である児童虐待相談に対応する福祉職及び心理職を安定的に人材の確保に向けた取り組みが必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 人材確保に向け、令和8年度まで必要な対策を講じる必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】